

講義科目名称： 成人看護学Ⅳ

授業コード： 2230201200

英文科目名称： Adult Health Nursing Ⅳ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎高柳智子、石田和子、樺澤三奈子、石岡幸恵、相澤達也			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎高柳 智子 石田 和子 石岡 幸恵 相澤 達也 坂田 智佳子 杉山 潤</p> <p>【研究室】 203 317 310 共同研究室3 共同研究室3 共同研究室3</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○</p>
------	---

到達目標	<p>1. 手術を受ける成人期にある患者と家族に対する周手術期看護について、科学的根拠をもとに説明できる。</p> <p>2. 集中治療を受ける成人期にある患者と家族への看護実践に必要な基本的知識を説明できる。</p>
授業概要	手術治療をはじめとする急激な身体侵襲を受け、急性状況にある人々を総合的に捉え、回復過程に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。器官別に代表的な健康障害を取り上げ、周手術期における看護アプローチを学ぶとともに、集中治療を受ける患者への看護の基本を学ぶ。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：ガイドダンス 脳・神経系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学習内容：脳血管疾患患者の急性期看護 開頭手術を受ける患者の看護 備考：高柳</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：消化器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学習内容：胃切除術を受ける患者の看護 大腸切除術を受ける患者の看護 備考：杉山</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：呼吸器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学習内容：肺切除術を受ける患者の看護 備考：坂田</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：女性生殖器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学習内容：乳房切除術を受ける患者の看護 子宮摘出術を受ける患者の看護 備考：石岡</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：心臓および脈管系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学習内容：急性冠症候群患者の看護 開心術を受ける患者の看護 備考：高柳</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：腎臓および泌尿器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学習内容：腎臓・膀胱・前立腺摘出術を受ける患者の看護 備考：石田</p> <p>7 授業内容 授業形態：対面 学習課題：運動器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護</p>

	<p>8</p> <p>学習内容：人工関節置換術を受ける患者の看護 備考：相澤</p> <p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：集中治療を受ける患者と家族の看護 学習内容：集中治療下での全身管理を必要とする患者および看護の特徴、集中治療下での患者・家族への支援 備考：相澤</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：どこカレ 当該科目のコースに掲載されている、各授業回で学習するテキスト該当ページの内容を確認して授業に臨んでください。その際、成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲや、形態機能学・臨床栄養学・臨床生化学・臨床薬理学・臨床病態学、感染学等で既修した基礎知識を見直してください。</p> <p>事後学習：理解が不十分であった内容について復習を行ってください。</p> <p>※事前あるいは事後学習として、担当教員より、授業中およびどこカレ上で学習課題を指示することがあります。</p>
評価方法、評価基準	筆記試験 100%：期末試験として、到達目標1と2の達成度を評価する。
必携図書	<p>雄西智恵美 秋元典子 編：成人看護学 周手術期看護論，ヌーヴェルヒロカワ 最新版 中西純子 石川ふみよ 編：成人看護学 リハビリテーション看護論，ヌーヴェルヒロカワ（前年度購入済み教科書を使用する）</p>
参考図書・資料等	適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	<p>授業の日程や事前準備、試験等に関することはどこカレで周知します。授業計画に沿って必携図書に目を通し、指示された自己学習したうえで受講してください(20分以上の遅刻は欠席扱いとします)。欠席、追試、再試の各手続は学生便覧に従い遂行をお願いします。なお、私語など他の学生の受講に支障となる行為は厳禁です。</p>
教員からのメッセージ	<p>患者を全人的にとらえる視点、病態・治療をふまえた看護を理解する上で、既修の知識が役立ちます。これらと関連付けながら授業に臨んでください。この科目で学習する知識を演習や実習での看護実践に活用できるよう、必携図書ならびに関連文献を積極的に読み、さらに理解を深めましょう。</p>
オフィスアワー	